紙クロス「オガファーザー」
破れてしまった場合の補修方法について

【用意するもの】 ・レームファルベ適量 ・ローラー ・マスキング
・マスカー ・クロス糊 ・注射器 ・紙やすり（#400～600）
・カッター ・鉛筆 ・ものさし ・手袋

Step,o1
破れた部分を切り取る

このように破れてしまった部分を補修する方法です。まずは、床を簡単に養生しましょう。

①鉛筆とものさしで傷の周りを正方形で囲みます。

②描いた線をカッターで軽くなぞり紙がめくれるようにします。

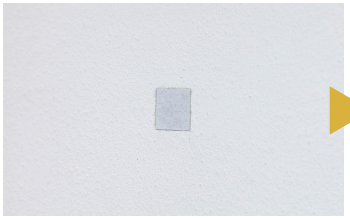
③ウッドチップクロスの場合２枚の内、上紙だけをカッターでめくる。フリースクロスの場合石膏ボードの紙ができるだけ剥がれないようめくる。

Step,o2
切り取った所に紙を貼る

④ウッドチップクロスの場合はこのように下紙が見えている状態にします。

⑤次に取り寄せた or 余りのオガファーザーを同じサイズの正方形に切り上紙だけにします。フリースクロスはそのままです。

⑥注射器などでクロス用の糊を少量つけて紙を貼ります。※多少の隙間は塗装で埋まります。

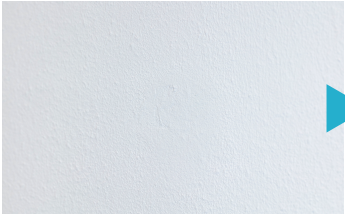


⑦貼り合わせた紙の糊が乾燥（12 時間以上）するのを待ちます。

Step,o3
レームファルベ再塗装で補修する

⑧糊が乾燥すれば、紙やすりの#400～600 番手を使用して、貼り合わせた紙の四方をやする。

⑨レームファルベとローラーを使用して軽く叩くようにタッチアップします。



破れの補修の完成です！！
言われなければ気付かない程度に補修可能だから便利ですね。